

まちのスペシャリスト! 地域のNPO!

NPOと学校との
連携事例集



授業関連 ▶

総合的な学習の時間
教科・特別活動等

授業関連外 ▶

部活動、特別支援
研修、学校支援、防犯

NPO 団体
紹介 ▶

NPOと学校との連携を通して
子どもたちの夢と、豊かな教育の可能性を探ろう!

連携事例 6

NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

南総里見八犬伝と太平洋戦争の跡をたどる

戦争体験者の高齢化が進む中、“戦争の惨禍と平和の大切さを戦争遺跡に語らせていく”という動きが全国的な広がりを見せている。海と自然に囲まれた町として知られる館山にも、実は今も戦争の爪痕が残る。現地のNPO法人「南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム」と人形劇団「貝の火」の協力のもと、館山の文化を学び、戦争遺跡から平和を考える体験をした。

千葉県立千葉女子高等学校

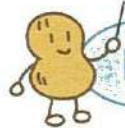
1年生 325人（8クラス）、教員 16人、南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム 40人、210分（平成19年6月22日実施）



目的

足もとの地域から
平和を考える

『千葉県の戦争遺跡をあるく』（千葉県・歴史教育者協議会：編）という本により、館山が「戦跡を身近な平和教育の拠点として整備している先進事例」に挙げられていることを知り、子どもたちが「戦争と平和」を学ぶよい機会になると思い、連携を決めた。



内容

楽しい遠足との組み合わせ

■事前学習として

- ・『遠足新聞（千葉女発見伝）』を作成。
- 各クラスの遠足係（2・3人）がテーマを分担し、5月から遠足終了までの計9回、毎週発行。
 1. 遠足ガイドダンス
 2. 館山ってどんな町？～館山紹介～
 3. サング礁とウミホタル～館山の自然～
 4. 城下町館山と南総里見八犬伝の世界
 5. 館山と太平洋戦争
 6. 館山の戦争遺跡～遠足見学地紹介～
 7. 館山の特攻基地
 8. 戦争と館山の人々
 9. 遠足アンケート結果報告（遠足終了後）
- ・「南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム」による出前授業（1時間講演）

■遠足当日

- ・4クラスで前半・後半でローテーションを組む。
- <戦争遺跡から平和を考える>
 - ・戦争遺跡巡り（赤山地下壕・掩体壕・米軍上陸地）
 - ・戦争遺跡ガイド（各クラスごとに2人担当）による説明。
- <南房総の文化を学ぶ>
 - ・人形劇団「貝の火」（伊東万里子代表）による『南総里見八犬伝』の人形劇ワークショップ（八犬伝の物語解説、人形の作り方、動かし方など）
 - ・ウミホタルの発光鑑賞



今も残る戦争の爪痕を辿る

- ・音楽専攻の生徒（前半・後半各50人程）が、合唱組曲『ウミホタル～コスモブルーは平和の色』の中から『宇宙（そら）の子守歌』を合唱。

参加者の声



- ・千葉が第2の沖縄戦になったかもしれないと知って、びっくりしました。
- ・千葉に住んでいるのに、館山の戦争の歴史はほとんど知らず、初めて館山が戦争の時の重要な場所であることが分かりました。『戦争は二度と起きてはいけなく、起こしてはいけない』というガイドさんの気持ちが良く伝わってきました。
- ・地下壕を見ていると、辛く苦しい時代を生きてきた人の、生きてきた証なんだと思いました。



まとめ

“聞く”だけではなく、“感じる”ことで、平和を考える

戦争遺跡ガイドがクラスに2人ずつ配置されたので、少人数(約20人)ごとに丁寧な説明を受けることができた。「南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム」の“館山”を愛する気持ち、理解して欲しいと願う気持ちが生徒にも教職員にもひしひしと伝わった。戦争についての知識を“聞く”のではなく、“感じて欲しい”という学校側の目的を果たすことができた。



赤山地下壕を見学。“心で感じる”戦跡は教科書では学べない

生徒の安全を守るというNPOの熱い思い

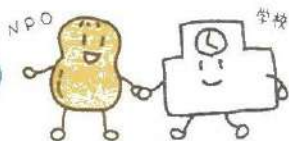
戦跡めぐりは歩く距離が長い、ポイントポイントにNPOスタッフが配置され、また車を巡回させて様子を見守ってくれていたお陰で、途中で体調が悪くなった生徒への対応もスムーズにできた。「訪れる生徒たちの安全は自分たちが守るんだ」というNPOの姿勢が感じられ、安心して遠足を任せることができた。

NPOの受け入れ態勢が整えば、もっと深く館山を知ることができる

戦争や平和というと、どうしても硬いイメージが付きまどってしまうので、本来の“遠足の楽しさ”という部分もカバーできるような「館山の自然」も取り込んだ内容にできたら、さらに充実したかもしれない。

館山では多くのNPOが活動しているので、NPO同士の連携や団体を対象としたメニュー作り、受け入れ態勢が整えば、館山という土地をいろんな切り口から捉えたもっと体系的な授業を行うことができるだろう。

実施校から



これから担当する先生へ
「よろしく！」ポイント

下見には必ず行くべき！

NPOと一緒に見学コースを回り、しっかりと説明を受け、実際の授業イメージを作り上げていくことが重要。人数が多いと昼食場所やトイレの確保にも苦労するので、下見の段階で忘れずに確認しておきたい。

旅行会社を通さずに直接NPOに連絡をすれば、経費削減に！

遠足の場合は旅行会社が間に入るケースが多いが、直接NPOとコンタクトを取れば、その分コストを抑えることができる。また教職員とNPOで連絡をまめに取る必要は出てくるが、その分思い通りの授業内容にすることができる。

行政を上手に活用！

千葉県発行の『ティーチャーズガイド自然体験 in 南房総』を参照するとよい。また行政に連絡すると、資料やパンフレットを無料でたくさん郵送してくれる。その地域の特徴や関連事項などを教職員も知ることができ、教室の壁にパンフレットを貼って事前の雰囲気作りに役立てることもできる。

NPO 法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

連絡先 事務局 池田恵美子

TEL/FAX 0470-24-0224, (携帯) 090-6479-3498

E-Mail npo@internet-ex.com

活動内容 歴史・文化の調査や研究、スタディツアーガイド、講演、ガイドブックの発行など

住所 〒294-0036 館山市館山95 小高記念館

活動地域 館山市および南房総全域

HP <http://www.internet-ex.com/npo/>

履歴校 川村高校、渋谷幕張中学、他多数

経費 参加者1人1500円～(講演・ガイドブックつき)※要相談

まちのスペシャリスト！地域のNPO！

—NPOと学校との連携事例集—

発行日 平成19年12月28日発行

編集 「NPOと学校との連携事例集」編集会議



- 委員 塩田 真吾（千葉大学 特任研究員）
委員 山本 佳美（特定非営利活動法人ちばMDエコネット 事務局長）
委員 東海林智之（千葉県教育庁企画管理部教育政策課 主査）
委員 小安 由男（千葉県教育庁教育振興部指導課 指導主事）
委員 古川 信幸（千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 社会教育主事）
委員 高木 昭美（千葉県環境生活部NPO活動推進課 NPO事業室長）

発行 千葉県

事務局 特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネットワーク

企画編集 吉原 廣

デザイン 遠藤 潤 表紙デザイン 金田典子

取材・記事 植村敦子 宇野京子 遠藤潤 買場都明

鈴木麻子 千葉真里 渡慶次康子

印刷 有限会社 ニモ印刷工房

この冊子に関するお問い合わせは、

千葉県環境生活部 NPO 活動推進課 043-223-4133 までお願いします。

